



地方創生

国・県の取組について

平成27年5月19日

国の取組①



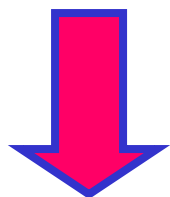
2014.5 増田レポートの公表
～消滅可能性都市896自治体

2014.9.3 まち・ひと・しごと創生本部の設置(閣議決定)



本部長：総理大臣 副本部長：地方創生担当大臣、官房長官

2014.11.28 まち・ひと・しごと創生法の公布



第8条 まち・ひと・しごと創生総合戦略
第9条 都道府県まち・ひと・しごと創生総合戦略(努力義務)
第11条 まち・ひと・しごと創生本部

2014.12.27 まち・ひと・しごと創生総合戦略(閣議決定)

国は、情報支援・人的支援・財政支援について切れ目なく実施

- 地方の雇用創出、東京圏からの転出入均衡
- 若い世代の結婚・出産・子育ての希望実現
- 安心な暮らしを守る地域形成



財政支援の概要

地域住民生活等緊急支援交付金事業(平成26年度2月補正)

タイプ	金額	概要
地域消費喚起・生活支援型	2,500億円	<ul style="list-style-type: none">・プレミアム商品券・旅行券等・人口・財政力等を踏まえ交付
地方創生先行型	基礎交付 1,400億円	<ul style="list-style-type: none">・地方版戦略策定費分として一市町村1000万円を交付・人口・財政力・就業率・少子化率等を踏まえ交付
	上乗せ交付 300億円	<ul style="list-style-type: none">・事業内容、地方版総合戦略の策定状況に応じて交付・概ね一市町3~5000万円



2014. 7月 「人口減少問題に関する有識者会議」の設置

2014. 12月 「有識者会議」から知事への提言

2015. 2月 「まち・ひと・しごと創生本部会議」の設置

2015. 3. 25 「美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと
創生県民会議・本部会議の設置、開催

2015. 4月 「同 地域会議」の設置、開催

4/22中部 4/23西部 4/25志太榛原・中東遠 4/27東部 4/30伊豆



中長期展望
(2060年を視野)

I. 人口の現状分析
・人口動向や将来人口推計の分析

II. 人口の将来展望
・目指すべき将来の方向性の提示
・施策の方向性を踏まえた人口の将来展望

基本目標と基本的方向

【地方における安定した雇用を創出する】

<基本目標の例>

- ◆若者雇用創出数：5年間で〇〇万人
- ◆若い世代の正規雇用労働者等の割合：2020年までに全ての世代と同水準
- ◆女性の就業率：〇〇%

【地方への新しいひとの流れをつくる】

<基本目標の例>

- ◆転出入の均衡
・転出者数 〇〇人減、転入者数 〇〇人増

【若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

<基本目標の例>

- ◆安心して結婚・妊娠・出産・子育てできる社会を達成していると考える人の割合：〇〇%
- ◆第1子出産前後の女性継続就業率：〇〇%
- ◆結婚希望実績指標：〇〇%
- ◆夫婦子ども数予定(2.12)実績指標：〇〇%

【時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】

<基本目標の例>

- ◆地域連携数など

美しい”ふじのくに”まち・ひと・しごと創生総合戦略（素案） における施策の方向性



「人口減少問題に関する有識者会議」提言を踏まえた施策の方向性

【地方における安定した雇用を創出する】

- 産業の振興と雇用の創出（社会減対策）
- 女性や健康な高齢者が活躍する社会の実現（社会減対策）
- 人口減少下における持続的成長（社会減対策）

【地方への新しいひとの流れをつくる】

- 魅力ある教育環境の整備（社会減対策）
- 交流の拡大と移住・定住の促進（社会減対策）

【若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる】

- 社会総がかりでの次世代育成の促進（自然減対策）
- 夢を持ち安心して家庭を築ける環境整備（自然減対策）
- 希望出生数をかなえる環境整備（自然減対策）
- 子育て支援の充実（自然減対策）

【時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する】

- 健康長寿の延伸（自然減対策）
- 安全・安心な地域づくり（社会減対策）
- ライフスタイルの変化への的確な対応（適応対策）
- 地域社会の活性化（適応対策）
- 行政運営の効率化・最適化と連携の推進（適応対策）

志太榛原・中東遠地域 まち・ひと・しごと創生施策の方向性 素案

～『“ふじのくに”の空の玄関口にふさわしい水と緑(食・茶・花)に彩られた美しい品格のある交流都市圏』を目指して～

1 人口減少社会の進行に関する現状認識

○社人研推計では、2040年の志太榛原・中東遠地域の人口は、約77万8千人と、2010年の人口約94万4千人から約16万6千人減少する見込みである。

○一方、静岡県推計(合計特殊出生率が2020年に2.0に回復し、かつ、社会移動がない(封鎖人口)と仮定)では、2040年の志太榛原・中東遠地域の人口は、約86万6千人と、2010年の人口から約7万8千人減少する見込みである。静岡県推計では、社人研推計に比べて人口の減少が約8万8千人抑えられるものと推計される

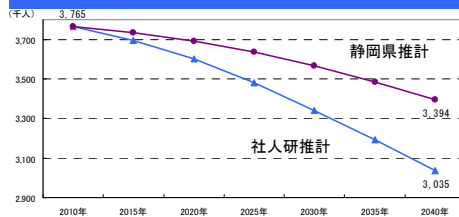
○年齢階級別人口については、社人研推計では、志太榛原・中東遠地域の2040年の年少人口は2010年に比べて約4万7千人の減少、生産年齢人口は約18万4千人の減少である一方、高齢者人口は約6万5千人増加する見込みである。

○市町別の合計特殊出生率について、12市町のうち8市町が県全体の値を上回っており、袋井市、吉田町、御前崎市の合計特殊出生率は、県全体の値を大きく上回っている。

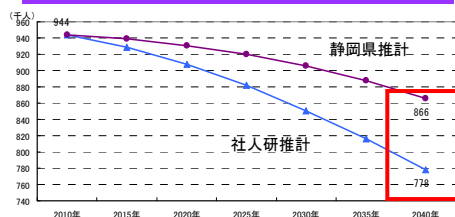
○人口動態については、県内西部地域及び東京圏への流出が顕著である。

○志太榛原・中東遠地域からの転出の理由は、「仕事」が全体の約4割を占めている。

静岡県の将来人口の推計(静岡県推計)



志太・中東遠地域の将来人口の推計(静岡県推計)



【静岡県推計条件】合計特殊出生率：2020年に2.0 / 社会移動：なし

(出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」、静岡県「静岡県の将来人口の推計について」)

静岡県の年齢階級別将来推計人口(社人研推計)

	2010年	2020年	2030年	2040年	2040年-2010年
年少人口(0~14歳)	51万2千人(13.6%)	43万7千人(12.1%)	35万7千人(10.7%)	31万8千人(10.7%)	△19万4千人
生産年齢人口(15~64歳)	235万6千人(62.6%)	207万4千人(57.6%)	188万5千人(56.4%)	159万4千人(52.5%)	△76万2千人
高齢者人口(65歳以上)	89万7千人(23.8%)	109万人(30.3%)	110万人(32.9%)	112万3千人(37.0%)	22万6千人
計	376万5千人(100.0%)	360万1千人(100.0%)	334万2千人(100.0%)	303万5千人(100.0%)	△73万人

(出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」)

志太・中東遠地域の年齢階級別将来推計人口(社人研推計)

	2010年	2020年	2030年	2040年	2040年-2010年
年少人口(0~14歳)	131,861人(14.0%)	114,975人(12.7%)	95,347人(11.2%)	85,005人(10.9%)	△46,856人
生産年齢人口(15~64歳)	593,385人(62.9%)	519,936人(57.3%)	473,669人(55.7%)	409,241人(52.6%)	△184,144人
高齢者人口(65歳以上)	218,350人(23.1%)	273,151人(30.1%)	281,738人(33.1%)	283,804人(36.5%)	65,454人
計	943,596人(100.0%)	908,062人(100.0%)	850,754人(100.0%)	778,050人(100.0%)	△165,546人

(出典：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口(平成25年3月推計)」)

志太榛原・中東遠地域の市町別合計特殊出生率

市町	平成20年~24年		順位	平成15年~19年		備考
	率	対H15~19		率	順位	
島田市	1.51	0.07	23	1.44	21	※
磐田市	1.57	0.09	14	1.48	17	
焼津市	1.54	0.10	17	1.44	21	※
掛川市	1.63	0.10	9	1.53	13	
藤枝市	1.44	0.05	30	1.39	28	※
袋井市	1.76	0.16	3	1.60	7	
御前崎市	1.72	0.07	6	1.65	3	
菊川市	1.66	0.11	8	1.55	9	
牧之原市	1.52	△0.01	20	1.53	13	
吉田町	1.73	0.13	5	1.60	7	
川根本町	1.57	0.18	14	1.39	28	
森町	1.48	△0.02	27	1.50	15	
県計	1.53	0.09		1.44		

(注) ※：H15~H19については、(旧)川根町、大井川町、岡部町を含まない。

(出典：厚生労働省「人口動態保健所・市区町村別統計」)

志太榛原・中東遠地域における人口動態の状況(平成25年)

転出先 転入元	県内					県外					合計	
	伊豆	東部	中部	西部	小計	東京圏	名古屋圏	大阪圏	その他	不詳		小計
転出	181	1,056	2,695	3,433	7,365	4,382	2,297	884	2,814		10,377	17,742
転入	185	1,034	2,655	2,954	6,828	3,206	1,913	852	2,640		8,611	15,439
差引計	4	-22	-40	-479	-537	-1,176	-384	-32	-174	0	-1,766	-2,303

(出典：平成26年度静岡県実施「市町人口動態調査」)

志太榛原・中東遠地域における転出の理由(平成26年5月~8月分)

	仕事	学校				住宅 新築・ 借換等	家族	居住環境				その他	計					
		就職・ 転職	転勤	退職	不明			本人の 学校	子供の 学校	結婚	同居・ 近居			家族から 独立	周囲の 環境	地震・ 津波不安		
回答数	1,367	771	519	77	0	130	76	54	556	1,200	762	219	219	167	126	41	374	3,794
構成比	39	21.0	16.7	1.3	0	3.2	1.3	1.9	12.2	32.1	19.1	5.6	7.4	4.3	3.6	0.7	9.2	100

(注) 県内市町の転出届等の受付窓口において、転居者等に対して、任意でのアンケート調査を実施
複数回答可、3つまで

(出典：平成26年度静岡県実施「転出者アンケート調査」)

志太榛原・中東遠地域 まち・ひと・しごと創生施策の方向性 素案

～『“ふじのくに”の空の玄関口にふさわしい水と緑(食・茶・花)に彩られた美しい品格のある交流都市圏』を目指して～

2 志太榛原・中東遠地域の産業等に関する現状認識

- 志太榛原・中東遠地域は、第1次産業、第2次産業の生産額が5地域の中で最も高く、第1次産業については2位の西部地域の2倍以上の生産額である。
- 志太榛原・中東遠地域の農業総生産は、平成19年と平成24年を比較してもさほど変わらず、県全体の4割超を占めている。また、圏域全体の面積に対する農用地の割合は、志太榛原・中東遠地域が5地域の中でもっとも高い。
- 志太榛原・中東遠地域の製造品出荷額は、平成20年から平成24年にかけて約1兆6,600億円減少しており、5地域の中で減少の割合が最も大きい。
- 平成20年から平成24年までの志太榛原・中東遠地域における製造品等出荷額の産業分類別推移は、輸送用機械器具製造業と情報通信機械器具製造業の減少額が大きい。一方で、食料品製造業については増加している。
- 観光交流客数は、東日本大震災前の状況に回復している。

県内5地域の産業等に関する状況

区分	総面積 (km ²)	人口 (千人)	総生産 (億円)				人口一人当たり所得 (千円)
			第1次産業		第2次産業		
			平成24年	平成24年	平成24年	平成24年	
伊豆半島	1,229	257	8,123	138 (1.7%)	1,123 (13.9%)	6,804 (84.4%)	2,404
東部	1,453	961	36,625	305 (0.8%)	13,051 (35.9%)	22,991 (63.3%)	3,289
中部	1,412	707	30,280	141 (0.5%)	6,615 (22.0%)	23,303 (77.5%)	3,564
志太・中東遠	2,042	926	44,440	694 (1.6%)	24,710 (56.0%)	18,686 (42.4%)	3,115
西部	1,645	850	35,385	327 (0.9%)	14,095 (40.1%)	20,695 (58.9%)	3,103
県計	7,781	3,701	154,853	1,604 (1.0%)	59,594 (38.8%)	92,478 (60.2%)	3,195

(出典：静岡県統計利用課「平成24年度しずおかの地域経済計算」、静岡県統計調査課「平成24年度経済センサス活動調査」)

県内5地域の農業総生産の推移

	農業総生産の推移		
	平成19年 (億円)	平成24年 (億円)	差額 (億円)
伊豆半島	64 (5.4%)	72 (6.1%)	8
東部	189 (15.9%)	183 (15.6%)	△ 6
中部	120 (10.0%)	113 (9.6%)	△ 7
志太・中東遠	518 (43.4%)	509 (43.4%)	△ 8
西部	301 (25.3%)	297 (25.3%)	△ 4
県計	1,192 (100.0%)	1,175 (100.0%)	△ 18

(出典：静岡県統計利用課「平成24年度しずおかの地域経済計算」)

県内5地域の農用地面積 (平成25年)

	全面積 (ha)	農用地面積 (ha)	農用地の割合 (%)
伊豆半島	122,908	3,976	3.2%
東部	145,289	9,746	6.7%
中部	141,193	5,862	4.2%
志太・中東遠	204,191	27,866	13.6%
西部	164,469	13,045	7.9%
県計	778,050	60,495	7.8%

(出典：静岡県交通基盤部「平成26年度版 静岡県の土地利用」)

県内5地域の製造品出荷額等の推移

	H20年 (億円)		H24年 (億円)		差額 (億円)	対H20年比
伊豆半島	1,808	0.9%	1,463	0.9%	△ 345	80.9%
東部	50,977	26.6%	41,301	26.7%	△ 9,676	81.0%
中部	18,452	9.6%	17,111	11.1%	△ 1,341	92.7%
志太・中東遠	73,619	38.4%	57,029	36.9%	△ 16,590	77.5%
西部	46,922	24.5%	37,691	24.4%	△ 9,231	80.3%
県計	191,777	100.0%	154,594	100.0%	△ 37,183	80.6%

(注) 従業者4人以上の事業所

(出典：静岡県統計調査課「静岡県工業統計」)

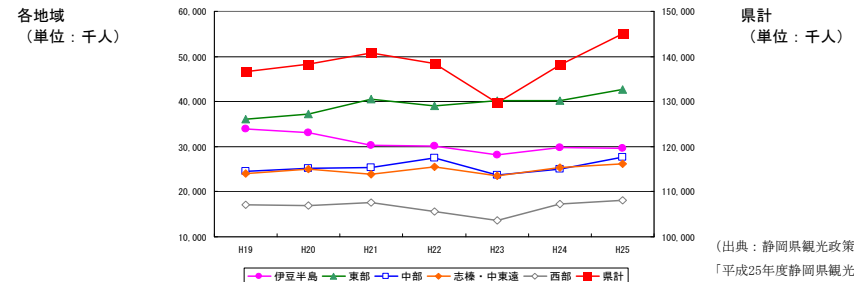
志太榛原・中東遠地域における製造品出荷額等の産業分類別推移 (平成24年)

分類	H20年 (億円)	H24年 (億円)	対H20年差 (億円)
輸送用機械器具製造業	18,997	14,880	△ 4,117
飲料・たばこ・飼料製造業	9,722	9,613	△ 109
化学工業	6,926	5,925	△ 1,001
食料品製造業	5,062	5,316	254
電気機械器具製造業	5,291	4,701	△ 590
情報通信機械器具製造業	5,080	888	△ 4,192
その他	22,541	15,705	△ 6,836
計	73,619	57,029	△ 16,590

(注) 従業者4人以上の事業所

(出典：静岡県統計調査課「静岡県工業統計」)

県内の地域別観光交流客数の推移 (平成19年度～平成25年度)



陸・海・空の交通ネットワーク



志太榛原・中東遠地域 まち・ひと・しごと創生施策の方向性 素案

～『ふじのくに』の空の玄関口にふさわしい水と緑(食・茶・花)に彩られた美しい品格のある交流都市圏』を目指して～

3 志太榛原・中東遠地域における地方創生の視点

- 茶園や里山の豊かな自然空間と、都市的空間が調和した農芸都市（ガーデンシティ）の形成を推進する。
- 「食材、茶、花」などの豊かな資源を活用した6次産業の拡大や、輸送用機器製造業のノウハウを生かした成長産業分野への進出など、地域の特色ある産業の振興を図る。
- 富士山静岡空港や高速道路など交通ネットワークと茶草場農法や南アルプスユネスコエコパークなど多彩な地域資源を活用して、観光・文化・スポーツなど多彩な交流を促進する。

4 志太榛原・中東遠地域における地方創生に向けた施策の方向性

(1) 安定した雇用を創出する

施策の方向性	施策例
○多極的な産業構造への転換を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・次世代自動車、新エネルギーなど、新成長産業への地域企業の参入を促進する。 ・新東名高速道路や富士山静岡空港など陸・海・空の交通ネットワークを活かした「内陸のフロンティア」を拓く取組を推進する。
○地域資源を活かした産業を創出・集積する。	<ul style="list-style-type: none"> ・フーズ・サイエンスヒルズプロジェクトにおける高付加価値を有する食品等の開発により、食品関連産業の集積を図る。 ・志太榛原・中東遠地域の豊かな農林水産資源を活用した6次産業化やブランド力の強化を推進する。
○学卒者と県内企業のマッチングを促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・先進農業経営者の下での実践研修等により、農業の成長産業化を担う学卒者の新規就農を支援する。 ・地域の大学等と連携して、学生と地元企業をつなげる就業体験や企業見学などの機会を創出する。
○女性に魅力ある新しい産業・仕事を創出する。	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ産業や新たな観光産業等、女性の働く場の開拓と地域経済への寄与が期待される新たなサービス産業の振興を図る。 ・男性企業経営者の意識改革等により、女性が活躍できる環境の整備に向けた共通認識の醸成を図り、女性の登用を促進する。
○中高年齢層が活躍できる地域づくりを行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・中高年齢層の知識や技術を活かした地域コミュニティの活性化や地域貢献活動等への従事を促進し、中高年齢層が地域で活躍する場の創出を図る。

(2) 新しいひとの流れをつくる

施策の方向性	施策例
○交流の拡大を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・世界農業遺産「静岡の茶草場農法」や南アルプスユネスコエコパークなど、世界水準の魅力を広く発信する。 ・富士山静岡空港をはじめとする陸・海・空の交通結節点としての優位性を活かして、国内外との交流人口を拡大する。 ・地域内の魅力を活かし、「花」「食」「茶」の都づくりを推進する。
○移住・定住を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・自然空間と都市空間が調和する農芸都市（ガーデンシティ）として魅力のある地域づくりを推進する。 ・体験型教育旅行や滞在型グリーンツーリズムの推進などにより、首都圏等に暮らす人々との交流を促進する。 ・多彩な自然と個性豊かな街を生かした、この地域ならではの魅力あるライフスタイルの提案と情報発信に取り組む。
○外国人観光客や留学生を呼び込む。	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山静岡空港の路線・便数の充実を図ることで利便性を高め、交流の玄関口として機能を強化する。 ・ラグビーワールドカップ2019の機運醸成や、東京オリンピック・パラリンピックの合宿誘致など、国際的スポーツイベントを契機とした外国人観光客の来訪滞在とスポーツ・文化交流の促進を図る。
○教育の多様性を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> ・農業、工業、商業、芸術、スポーツなど新しい実学を奨励し、社会の第一線で活躍できる人材の育成を図る。 ・南アルプスユネスコエコパークや塩の道・秋葉街道等の歴史・文化、産業など地域に根ざした「地域学」を創出する。
○高等教育機能を充実する。	<ul style="list-style-type: none"> ・大学間連携、大学と地域との連携、高大連携などを推進し、地域の大学等の教育機関の教育・研究機能の充実を図る。 ・ふじのくに地域・大学コンソーシアム等による高等学校への出張講義など、地域と大学生との交流を促進する。

～『“ふじのくに”の空の玄関口にふさわしい水と緑(食・茶・花)に彩られた美しい品格のある交流都市圏』を目指して～

4 志太榛原・中東遠地域における地方創生に向けた施策の方向性

(3) 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

施策の方向性	施策例
○次世代育成に向けた意識改革を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・ワーク・ライフ・バランスへの取組など、男女がともにいきいきと働くことができる職場づくりを促進する。 ・父親の意識改革、子どもの頃から乳幼児と触れ合う機会の充実等により、社会総がかりで次世代を育成するという意識を醸成する。
○結婚気運を醸成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭を持ち親となることのすばらしさの啓発など、若い世代の結婚への憧れや関心を高める取組を推進する。
○若者の雇用・生活の安定化を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・正規雇用の促進など就労支援の強化により、若者が夢を持って家庭を築ける環境を整備する。
○希望出生数をかなえる環境を整備する。	<ul style="list-style-type: none"> ・講座や講演会等の開催により、若い世代の妊娠・出産に関する正しい知識の習得を促進する。 ・地域における周産期医療体制や小児救急医療体制の確保など、安心して出産できる環境の整備を推進する。
○子育て支援の充実を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所、認定子ども園、放課後児童クラブの整備等の促進により、待機児童ゼロの実現に取り組む。 ・育児と就業の両立に積極的に取り組む企業や地域における家庭教育の支援等、子どもが健やかに育つことができる環境を整備する。

(4) 時代にあった地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する

施策の方向性	施策例
○地域における新しい絆を形成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動を担う人材の養成や地域活動拠点の整備などにより、地域における支え合いの再構築を図る。 ・地域包括ケアの総合的な推進や、在宅医療等の強化など、家族機能を補完する新たな枠組みを構築する。
○地域の国際化を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・富士山静岡空港を活かした友好提携による交流の促進や、日本人・外国人が協働した多文化共生の地域づくりを推進する。
○効率的で持続可能なまちづくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線新駅を見据え、空港周辺の魅力あるまちづくりを推進する。 ・中山間地域の魅力を生かした地域づくりや集落ネットワークの形成等により、そこに暮らす住民が安心して生活できる環境の確保を図る。 ・都市的地域と中山間地域の交流・連携の促進に向け、地域のニーズに応じた新たな生活交通の導入を促進する。
○地震・津波対策を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・森の防潮堤など、地域協働による「静岡モデル」の津波対策をはじめとした「国土強靱化地域計画」を総合的に推進する。 ・富士山静岡空港を活用した大規模な広域防災拠点の整備を推進する。
○環境に配慮したライフスタイルの定着を促進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・恵まれた日照環境や南アルプスを水源とする水、海洋等の地域資源を活かした再生可能エネルギーの導入を促進する。 ・再生可能エネルギー等の導入とICTの活用によるスマートコミュニティの形成に向けた取組を促進する。

今後の取組スケジュール



月	取組概要
5月	(県民会議・地域会議の意見を踏まえ計画案の検討)
6月	計画素案を県議会に説明
7月	県議会で計画素案審査・各会派からの提言 (提言を踏まえ計画素案の検討)
8月	県民会議・地域会議開催 パブリックコメントの実施
9月	(計画最終案の作成) 計画最終案を県議会に説明
10月	県議会常任委員会で審査 計画策定・公表 (下旬予定)



ご清聴ありがとうございました。

